

業務連絡

2021年4月28日
JR東海労新幹線関西地本
編集 業務部 No.22

2021年4月21日、関西支社会議室において「申」第28号について、会社は団体交渉の開催を拒否し、会社側幹事から口頭による回答がありました。

以下、組合の申し入れと会社回答。

「曙ブレーキ工業の検査データ改ざん」に関する緊急申し入れ

2月16日、マスコミで「ディスクブレーキとライニング」を製造している、「曙ブレーキ工業」が自動車用部品の検査データを改ざんしたと報道された。

その内容は、国内の4つの工場で製造したブレーキ部品の検査で「耐久性などに関する数値の改ざん」や「過去のデータを流用して検査したようにみせかけた」などの不正が11万4271件にもなっている。このメーカーは、新幹線や在来線などの鉄道車両のブレーキも開発・製造し、特に新幹線のディスクブレーキでは国内約50%のシェアを有しており、N700系をはじめとした新幹線のディスクブレーキにおいて高いシェアを誇っている。

については、JR東海会社も曙ブレーキ工業会社との取引や部品等を使用している場合、極めて安全上問題があると考え。よって、お客様が安全に利用し、乗務員が安心して働けるために、緊急に以下の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催すること。

1. 曙ブレーキ工業との取引を行っているのか明らかにすること。

【会社回答】曙ブレーキ工業株式会社からはブレーキ関係部品を購入している。

2. 仮に取引がある場合、新幹線用部品に改ざん等はないのか明らかにすること。

【会社回答】自動車用ブレーキ製品において一部不適切な行為があったと聞いているが、鉄道車両用部品については対象ではない。

3. 新幹線用部品、検査内容について状況が分かるまで、同社部品の使用を止めること。

【会社回答】鉄道車両用部品については今回の対象ではなく安全上の問題はないため、そのつもりはない。

4. 全編成の緊急点検を早急に実施し、その結果を乗務員、労働組合に明らかにすること。

【会社回答】3項と同じ回答。

**組合の緊急申し入れから会社回答まで1ヶ月半も
かかったことに抗議！！今後、組合からの緊急申し
入れに対して早急に誠意を持って回答すること。**